

保険番号マスタ（富山県16）

番号	設定項目名	制度名	こども		妊産婦	ひとり親	心身障害者			高齢者			
1	保険番号		142	181	182	183	184	180	280	185	285	385	
2	法別番号		42	81	82	83	84	80	80	85	85	85	
3	短縮制度名		こども	乳子ども	妊産婦	ひとり親	障害	後期障害	後障1割	高齢1割	高齢2割	富山高齢	
4	保険公費種別区分		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
5	法別番号チェック区分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	検証番号チェック区分		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
7	受給者検証番号チェック区分		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
8	公費主保区分		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
9	年齢(開始～終了)		0 — 15	0 — 18	0 — 999	0 — 999	0 — 64	65 — 999	65 — 999	18 — 74	65 — 69	65 — 999	
10	点数単価		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
11	レセプト負担金額		1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
12	レセプト請求(印刷)		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
13	レセプト記載		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
※	所得情報									本人	低所得	低年金	
14	外来負担区分		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2
15	1回負担割合		0	0	0	0	0	10	10	20	20	20	0
16	1回固定額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	1回上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	1日上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	1日上限回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	1月院内上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	8000	8000	0
21	1月院外上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	8000	8000	0
22	1月上限回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	薬剤負担		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	入院負担区分		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2
25	1回負担割合		0	0	0	0	0	10	10	20	20	20	0
26	1回固定額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	1回上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	1日上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	1日上限回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	1月上限額		0	0	0	0	0	0	0	0	24600	15000	0
31	1月上限回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32	1日食事助成額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	食事療養費		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(注) 平成31年4月よりこども等がレセプト請求となるようです。各保険番号(181)に対してシステム管理マスター「2010 地方公費保険番号付加情報」の「レセ(4)」タブの「保険欄の括弧再掲(下)金額加算(70歳未満)」の全項目の左側を「1」で設定してください。

こども医療費	「こども」(患者負担無し。富山市の制度。社保国保共に専用の請求書での請求のようです。カスタマイズをお願いします。)※平成31年3月までの制度のようです
妊産婦医療費	「乳子ども」(患者負担無し。社保国保共にレセプト請求。)※平成31年4月より制度開始
ひとり親家庭等医療費	「妊産婦」(患者負担無し。社保国保共にレセプト請求。)※平成31年4月より制度開始
心身障害者医療費	「ひとり親」(患者負担無し。社保国保共にレセプト請求。)※平成31年4月より制度開始
	「障害」(患者負担無し。社保国保共にレセプト請求。)※平成31年4月より制度開始
	「後期障害」(後期高齢者が対象。患者負担無し。レセプト請求。)※令和7年8月より制度開始
	「後障1割」(後期高齢者が対象。患者負担1割。レセプト請求。)※令和7年8月より制度開始
高齢者医療費	「高齢1割」(富山市の制度。患者負担1割。社保国保共にレセプト請求。 入善町も同制度の場合があるようです。)※平成31年4月より制度開始
	「高齢2割」(患者負担2割。社保国保共にレセプト請求。)※平成31年4月より制度開始
	「富山高齢」(富山市の制度。患者負担無し。食事療養費は助成対象外。通常は償還払いで富山市は専用の老人医療費請求書での請求でしたが、令和7年8月よりレセプト請求の為、保険番号180をご使用ください。)

※平成31年4月よりこども、妊産婦、ひとり親、障害、高齢者がレセプト請求へ変更
 ※令和7年8月より障害(65歳以上)がレセプト請求へ変更